

2024年1月現在 仙台いのちの電話研修担当者(50音順)

- 秋葉 良子 (山形学院高校スクールカウンセラー)
- 浅野 晴哉 (宮城学院女子大学准教授)
- 菅藤 健一 (福島学院大学教授)
- * 齋藤 眞 (公益社団法人家庭問題情報センター主任研究員)
- * 佐藤 静 (宮城教育大学名誉教授)
- * 佐藤 智昭 (公立・私立スクールカウンセラー 臨床心理士)
- * 鈴木 正貴 (宮城県教育庁高校教育課スクールカウンセラー・スーパーバイザー 臨床心理士)
- * 高橋 玄 (泉こころのクリニック院長 精神科医)
- 千葉 健 (千葉神経科内科クリニック院長 精神科医)
- * 谷山 洋三 (東北大学大学院文学研究科教授)
- * 松浦 光和 (宮城学院女子大学教育学部教授 臨床心理士)
- 藤原 砂織 (内科板倉医院カウンセラー 臨床心理士)
- 三好 敏之 (尚絅学院大学総合人間科学部教授)
- * 茂木 千明 (仙台白百合女子大学人間学部准教授 臨床心理士)
- 梁川 優子 (ファンタジーグループ研究会世話人)

(*は第51期養成研修担当予定者)

第51期 ボランティア相談員養成講座申込用紙

ふりがな	生年月日		年齢
氏名	西暦	年	歳
	月	日	
住所	〒 ー 電話		
職業	該当するものに○をつけてください 会社員 公務員 自営業 主婦(夫) その他()		
本講座を何で 知りましたか?	友人、知人、ラジオ、チラシ、()新聞、 ホームページ、その他()		

※応募に関する情報及び面接に関する情報は一切開示しません。事務局にて適切に管理・処理をいたします。

お問合せ

社会福祉法人仙台いのちの電話事務局 (申込先も同じ)
〒981-8691 仙台北郵便局私書箱26号
TEL:022-718-4401 FAX:022-718-4431 (平日10:00~17:00)
後援/仙台市

2024年度 社会福祉法人仙台いのちの電話

ボランティア相談員
養成講座

第51期受講生募集

~いのちを支える活動を一緒に始めませんか~
まずはどなたでも参加できる公開講座にお申し込みください!

【募集期間】2024年3月1日~5月31日

募集人員 30名程度

- 応募資格
1. 公開講座に1回以上出席できる方
 2. 22歳以上の方
 3. 「いのちの電話」の趣旨に賛同し、グループ研修を通して学び合える方
 4. 電話相談を担当できる心身の健康を有する方

研修費用 一括/45,000円(分割払い、前期15,000円/中期15,000円/後期15,000円)

研修期間 2024年7月~2025年9月

応募方法 期日内に下記①~③を、郵送またはホームページ専用フォームから
直接送信してください。

- ① 申込用紙(所定様式)。募集要項の裏面をコピーしてご利用ください。
- ② 「いのちの電話」に参加する動機(A4、400字程度)
- ③ 私が影響を受けた人や出来事(A4、800字以上)

※自分の人格形成に影響を及ぼした出来事や人物を中心に文章にしてください。

応募期限 2024年5月31日(金) 当日消印有効

面接実施 応募書類を審査し、6月中に面接します。
会場・面接時間は応募書類受理後、郵送で連絡します。

ホームページ <https://sendai-inochi.jpn.org/> ©電話相談24時間365日©



仙台いのちの電話の相談員になるためには



各研修課程での出席状況、適性などを審査し、2025年10月に「仙台いのちの電話」相談員として認定の予定です。

第51期ボランティア相談員養成講座スケジュール

研修曜日と時間：土曜日グループ13:30～15:30／木曜日グループ19:00～21:00

○曜日グループ13:30～15:30(応募者多数の場合平日開講)

受講者数によりスケジュールが変更になる場合もあります

開催予定日		研修内容		講義	
4月	4/28(日)	第1回 公開講座「家族との関係性を描く(家族理解と家族レジリエンス)」			前 期
5月	5/19(日)	第2回 公開講座「心を支える」			
7月	7/6(土)	開講式・講義「いのちの電話に関わるための基礎知識」		研修 毎週1回	
		体験学習			
8月		体験学習			
9月	9/21(土)～23(月)	体験学習			
		集中的グループ学習3日間(必修)			
10月		体験学習			
11月		体験学習		中 期	
12月		フィールドロールプレイング(模擬電話実習)			
1月		フィールドロールプレイング(模擬電話実習)			
2月		フィールドロールプレイング(模擬電話実習)			
3月		面談 仮認定			研修 月2回 電話担当 月1回
		フィールドロールプレイング(模擬電話実習)			
4月		フィールドロールプレイング(模擬電話実習)			
後 期	5月	グループ学習		研修 月2回 電話担当 月2回	
	6月	グループ学習			
	7月	グループ学習			
	8月	グループ学習			
9月		グループ学習		10月	
10/4(土)	認定式				

ささえあつて
40th + 2
これから

「仙台いのちの電話」とは

誰にも相談することができず、不安や孤独の中で「生きる力」を失い、時には自死に追い込まれる人もいます。「いのちの電話」はそのような人の苦しみを受けとめ、みずからの力で生きていけるようお願いしつつ、自殺予防を第一の目的として、多くの電話を受けています。

このボランティア活動は1953年イギリスに生まれ、日本では1971年に初めて東京に設立されました。「仙台いのちの電話」は、1982年国内15番目のセンターとして開局し、本年42年となりました。

相談員の1年の活動

電話相談担当月 2回(年3回深夜帯担当含む)

継続グループでの月1回の研修

宿泊研修(8月)

一日研修(2月)

後援会関係イベント

チャリティコンサート 随時企画

いのでんマルシェ



一番町藤崎デパート前でのマルシェ風景

相談員の声

～41周年記念誌から抜粋～

ひよっ子相談員の思い

1年4ヶ月の研修を終えて、やっと相談員として、電話を受けさせていただいております。とても楽しく、充実した研修期間であり、大切に育てて頂いた事、心から感謝いたしています。これからは、学ばせて頂いた心構えや思いを大切にして、ひたすらに電話の向こうの方々のお話を聞かせて頂きたいと考えております。継続グループ、一日研修、一泊研修とても楽しみです。(M・Y)

大切に向き合える力

自殺者のニュースの後に「いのちの電話」のテロップが流れることが多くなった。専門職でない私達相談員に自殺を阻止できるそんな力や寄り添いができる？と戸惑ってしまっている。それでも、電話の向こうから声が届く。聴いて、聴いて――。